

政策体系	政策No.	4	政策名	育み磨きあうまちづくり			施策主管課	教育総務課	
	施策No.	3	施策名	スポーツ、芸術文化の振興	重点施策		施策主管課長名	久保 隆義	
施策関係課名		学校教育課、保健体育課、生涯学習課、文化振興課							
1 基本計画期間(平成20年度～平成24年度)における施策の方針									
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興については、市民の健康・体力の保持増進を図るとともに、融和と連帯感を養い、温もりと活力に満ちた明るく豊かなまちづくりに努める。また、スポーツを通じて交流活動の活性化が図られる活動を奨励する。 ・芸術文化振興については、市民の自発的な文化活動を支援する。また、多様化する市民のニーズに対応した文化活動を推進し、日常生活にゆとりと潤いを感じることで文化の薫り高いまちづくりを推進する。 									
2 施策の目的と成果把握									
① 対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)		市民							
② 対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
A	人口	人	見込み値	127,871	128,128	128,383	128,640	128,868	129,098
			実績値	127,773	127,450	127,662	127,487	127,365	127,475
B	競技団体数 ※体育協会加入団体数、スポーツ少年団登録団体数	団体	見込み値	226	145	145	145	145	145
			実績値	220	213	128	125	116	111
C	文化団体数 ※文化協会加入団体数	団体	見込み値	274	274	274	274	274	274
			実績値	243	244	238	229	224	221
③ 意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに親しむ ・芸術文化に親しむ *親しむとは <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ…参加、観戦を含む概念として用いる ・芸術文化…鑑賞と演奏、創作のいずれも含む概念として用いる。 							
◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%～105%未満) △目標を未達成(95%未満)									
④ 成果指標 (意図の達成度を表す指標)		単位	区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
A	スポーツに親しんでいる市民の割合 (ほぼ毎日、週に1回程度、月に数回程度、年に数回程度)	%	成り行き値	59.0	59.0	59.0	60.0	60.0	60.0
			目標値	60.0	62.0	64.0	66.0	68.0	70.0
			実績値	58.6	63.3	63.1	61.1	61.9	66.3
			達成率	98%	102%	99%	93%	91%	95%
			結果	○	○	○	△	△	○
B	芸術文化に親しんでいる市民の割合 (ほぼ毎日、週に1回程度、月に数回程度、年に数回程度)	%	成り行き値	54.0	53.0	52.0	51.0	50.0	50.0
			目標値	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0
			実績値	51.7	56.1	56.5	56.8	53.2	59.4
			達成率	94%	100%	99%	98%	90%	99%
			結果	△	○	○	○	△	○
C			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						
E			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						
⑤ 成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)		⑥ 平成24年度の目標値設定の考え方							
<ul style="list-style-type: none"> ・A…スポーツに親しんでいる市民の割合 ※総合計画進行管理に係る市民意識調査(ほぼ毎日、週に1回程度、月に数回程度、年に数回程度) ・B…芸術文化に親しんでいる市民の割合 ※総合計画進行管理に係る市民意識調査(ほぼ毎日、週に1回程度、月に数回程度、年に数回程度) 		<ul style="list-style-type: none"> A 「スポーツに親しんでいる市民の割合」については、高齢者層における比率が高く、特に男性の比率が高い現状となっている。近年の健康志向の高まりとともに、今後も壮・老年層のスポーツ人口は増加するものと予想されることから、増加するスポーツ人口に対応した環境づくりを進めることにより12%の成果向上を目指す。 B 「芸術文化活動に親しむ市民の割合」については、芸術文化団体数の増加及び発表の機会の拡充等により増加傾向にある。今後も活動の場の提供や支援を行い5%の成果向上を目指す。 C D 							

3 基本計画期間で解決すべき施策の課題(総合計画書より)

- ・スポーツ少年団については統一がなされているので、今後は団員の交流を深めていく必要がある。なお、統一されていない競技種目団体については早めに統一を図る必要がある。
- ・施設利用日が重複し利用できない団体があるため、市内全域にある体育施設を有効活用するよう働きかけを行う必要がある。
- ・今後、一部の体育施設においては老朽化に伴い維持管理費が増大すると考えられる。維持管理の計画策定や改修を行うとともに、使用料減免制度の見直しを検討し、指定管理者制度導入施設については特に早急な対策を講じる必要がある。
- ・芸術文化活動では、舞台講習を開催するなど音響・照明効果などを出演者が学び、より芸術性を高めることが必要である。
- ・市民に音楽等の優れた芸術文化に触れる機会を提供していく必要がある。

4 施策の特性・状況変化・住民意見等

① この施策の役割分担をどう考えるか(協働による市民と行政の役割分担)

ア)行政の役割 (市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)	イ)市民(住民、事業所、地域、団体等)の役割
■市 ・主に市の役割となるが、誰もがいつでも、どこでも、できる生涯スポーツの環境づくりを図る。 ・芸術文化に関する鑑賞の場の提供や活動の機会を増やし、芸術文化に親しむ環境づくりに努める。	■住民 ・健康づくり、体力づくりのためにスポーツに親しむ。 ・ストレス解消発散、人との親睦、融和のためのスポーツを取り入れる。 ・知識、教養を高めるため、芸術文化に触れる機会をつくる。 ■地域 ・指導者を活用してスポーツの裾野を広げる。 ・芸術文化団体の発表の場の提供。

② 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

近年の健康志向に鑑み、壮老齢のスポーツ人口は増えていく。50代の人たちが60代になってもそのままスポーツを続ける人がいるので今後、高齢者のスポーツ実践は増えていくと予想される。平成23年8月24日にスポーツ基本法が施行され、8項目にわたるスポーツに関する基本理念が定められた。
 また、市民が生涯学習の一つとして芸術文化の鑑賞や実践が増えてきており、文化協会などの団体に加入せずに個人で芸術文化活動を行う人が増えていくと予想される。

③ この施策に対して市民(対象者、納税者、関係者等)、議会からどのような意見や要望が寄せられているか?

- ・専用スポーツ施設の整備を行ってほしい。
- ・計画的な設備等の導入を図ってほしい。
- ・文化施設の整備・充実を図ってほしい。
- ・芸術文化に関する鑑賞の場や活動のできる環境をつくってほしい。

5 施策の現状

① 平成24年度施策の取組方針	② 平成24年度施策の取組方針の達成状況
ア:市民が安心して安全な環境で楽しくスポーツや文化活動を行うための、環境づくりを進める。 イ:市民がスポーツや文化により親しむために、きめ細かい情報提供や幅広い広報活動を行う。 ウ:児童生徒が、スポーツや文化活動の楽しさを味わうことができるような、各種事業の展開を図る。	ア:施設整備長期計画に基づき、国分運動公園庭球場の改修を始めとした、施設の老朽化対策等のための改修や、霧島市民会館の空調設備の改修等を行った。 イ:各種イベントへの参加を促すため、ホームページや広報誌、ポスター等を活用し、情報提供に努めるとともに、市のスポーツ振興の方向性を示した霧島市スポーツ振興計画を策定した。 ウ:スポーツについては、児童生徒がスポーツの楽しさを味わうとともに、競技力の向上も図られるようスポーツ少年団指導者の育成や研修会を開催した。また、九州大会及び全国大会出場参加に対する負担軽減のための支援等を行った。 芸術文化については、舞台鑑賞事業として、「小椋 桂と薩摩琵琶演奏会」、劇団四季「こころの劇場」を開催し、市民や児童生徒の、芸術活動に対する興味を喚起した。

④ 平成24年度施策の成果指標の達成状況及び要因

目標達成 ◎ 105%以上 目標をほぼ達成 ○ 95%~105%未満 目標を未達成 △ 95%未満	・スポーツに親しんでいる市民の割合については、前年度実績値を4.4ポイント上回り、目標値には及ばなかったものの目標をほぼ達成することができた。その要因としては、近年の健康志向の高まりや、平成24年度にオリンピックが開催されたことに伴う意識の変化などがあったためと思われる。 ・芸術文化に親しんでいる市民の割合については、前年度実績値から6.2ポイント増加し、目標値には及ばなかったもののほぼ目標を達成した。その要因としては、市主催事業の参加者数は増加しつつあることをはじめとして、市民の芸術文化への関心が少し上昇傾向にあることが考えられる。
---	---

⑤基本事業の 目標達成度 (平成24年度目標と 実績との比較)	○=すべての目標値を達成 △=一部の目標値を達成 ×=すべての目標値を未達成			
	①	②	③	④
	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり	生涯スポーツ、芸術文化に親しむための環境づくり(活動の場の確保)	スポーツ、芸術文化団体の育成	

6 平成25年度の施策の取組方針 (昨年度マネジメントシートより)	7 平成26年度に向けた施策の課題・方向性

基本事業No.	4-3-1	基本事業名	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり	基本事業 主担当課	・保健体育課 ・文化振興課
---------	-------	-------	---------------------	--------------	------------------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）	
市民がスポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけとなる情報提供やスポーツ、芸術文化教室等を公民館、各種団体・組織と連携して行う。	
②対象	市民
③意図	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年度)
A	きっかけづくりの活動(スポーツ教室等)に参加したのべ人数	人	市主催大会等への参加者数	成り行き値	55,086	55,086	55,086	55,086	55,086	55,086
				目標値	56,985	58,885	60,784	62,684	64,583	66,482
				実績値	57,516	57,100	61,070	60,389	80,314	78,194
				達成率	101%	97%	100%	96%	124%	118%
				結果	○	○	○	○	◎	◎
B	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加したのべ人数	人	市主催事業の参加者数	成り行き値	21,790	21,790	21,700	21,650	21,600	21,550
				目標値	21,790	23,319	23,470	23,143	23,178	23,170
				実績値	22,530	20,633	24,104	26,454	32,611	35,874
				達成率	103%	88%	103%	114%	141%	155%
				結果	○	△	○	◎	◎	◎
C				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						
D				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

- ・スポーツ活動参加者数に関しては、目標値10%の成果向上を目指す。
- ・文化活動参加者数に関しては、目標値5%の成果向上を目指す。

4 平成24年度基本事業の取組方針 **5 平成24年度基本事業の取組方針の達成状況**

ア:指定管理者や総合型スポーツクラブの行うスポーツ教室等の支援や、スポーツ推進委員の積極的な活用による、地域住民のスポーツ活動のきっかけづくりを図る。	ア:総合型地域スポーツクラブによるトップアスリート活用の児童生徒への指導に関する連携のほか、スポーツ推進委員が実施する自主事業や出前講座等への支援を行った。
イ:専門家による演奏(出前演奏会)を開催し、生徒に生の演奏の楽しさを紹介することで、音楽に親しみきっかけをつくる。	イ:専門家との共演や、クリニック(演奏指導)を実施した。また、一流の音楽家によるすばらしい生演奏を生徒に触れさせることができた。

6 平成24年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

- ・きっかけづくりの活動(スポーツ教室等)に参加した延べ人数は、前年に比べ約2,000人減少したものの、目標値は1万人以上上回り、目標は達成できた。その要因としては、市民の健康志向の高まりや、スポーツに親しむという意識の変化があったと思われる。
- ・きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数は、前年度実績値より3,263人増え、目標値を12,704人上回り、目標を達成した。その要因としては、生徒芸術鑑賞会が前年度は中学3年生だけだったものを、中学1・2年生まで対象を広げたことや、舞台芸術鑑賞事業を2公演実施したことなどがあげられる。

7 平成25年度基本事業の取組方針 **8 平成26年度に向けた基本事業の課題・方向性**

--	--

基本事業No.	4-3-2	基本事業名	生涯スポーツ、芸術文化に親しむための環境づくり(活動の場の確保)	基本事業 主担当課	・保健体育課 ・文化振興課
---------	-------	-------	----------------------------------	--------------	------------------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）	
<p>・一部の体育施設は老朽化しているため、その改修及び維持管理を計画的に進める。 ・文化施設については照明や音響等の設備の充実を図り、その効果によって芸術性をさらに高めていくことに努める。</p>	
②対 象	市民
③意 図	スポーツや芸術文化活動を行う環境が整う。

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年度)
A	スポーツを行う環境が整っていると考える市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0
				目標値	42.0	42.0	42.0	42.0	43.0	43.0
				実績値	38.9	42.9	42.7	41.7	39.6	48.4
				達成率	93%	102%	102%	99%	92%	113%
				結果	△	○	○	○	△	◎
B	芸術文化活動を行う環境が整っていると考える市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
				目標値	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0
				実績値	20.6	24.2	22.2	22.9	22.3	26.9
				達成率	103%	115%	101%	100%	93%	108%
				結果	○	◎	○	○	△	◎
C				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						
D				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

・民間のフィットネスクラブなどの体育施設は今後も立地する可能性があるものの大幅な向上は期待できない。市としては計画的な施設の見直しや地域を越えての利用の促進によって若干であるが成果向上を目指す。
 ・文化施設の年次的な設備等の整備を図り、安心安全でより快適な空環境を構築する。

4 平成24年度基本事業の取組方針 **5 平成24年度基本事業の取組方針の達成状況**

ア:施設整備長期計画に基づき、国分運動公園庭球場の改修や、霧島市民会館の空調施設改修を行うなど、安心安全な施設の環境整備を図る。 イ:福山パークゴルフ場の増設のための実施設計を行う。	ア:施設整備長期計画に基づき、国分運動公園庭球場や溝辺グラウンドゴルフ場の木柵の改修を行ったほか、各体育施設の老朽化に伴う改修、霧島市民会館の空調機器の整備を行い、安心安全な施設整備に努めた。 イ:福山パークゴルフ場を現在の18ホールから36ホールへ増設するための実施設計を行った。
--	--

6 平成24年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

・スポーツを行う環境が整っていると考える市民の割合は、前年度から8.8ポイント増加するとともに目標値も5.4ポイント上回り、目標を達成することができた。その要因としては、年次的ではあるが、老朽化した施設等について施設整備長期計画等による適切な整備を行ったことなどが考えられる。

 ・芸術文化活動を行う環境が整っていると考える市民の割合は、前年度実績値から4.6ポイント増加し、目標値を1.9ポイント上回り、目標を達成できた。その要因として、芸術文化団体が活動する場所やその環境が充実したことがあげられる。

7 平成25年度基本事業の取組方針 **8 平成26年度に向けた基本事業の課題・方向性**

--	--

基本事業No.	4-3-3	基本事業名	スポーツ、芸術文化団体の育成	基本事業 主担当課	・保健体育課 ・文化振興課
---------	-------	-------	----------------	--------------	------------------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）

- ・地域における各種団体が行うスポーツ活動を支援するとともに、交流を促進するための働きかけを行う。
- ・市民の自発的な芸術文化活動が積極的に行われるよう支援する。

②対象	・市民 ・スポーツや芸術文化活動を行っている団体・組織	③意図	・スポーツ、芸術文化活動を通じ互いに交流することで親睦を図る。 ・スポーツ、芸術文化活動に取り組む仲間が増える。
------------	--------------------------------	------------	---

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名	単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年度)
				成り行き値	226	226	145	145	145
A スポーツ団体・組織の数	団体	競技団体数(体育協会加入団体数、スポーツ少年団登録団体数等)	目標値	226	226	145	145	145	145
			実績値	220	213	128	125	116	111
			達成率	97%	94%	88%	86%	80%	77%
			結果	○	△	△	△	△	△
B スポーツ団体・組織の会員数	人	競技団体数(体育協会加入団体数、スポーツ少年団登録団体数等)	成り行き値	14,698	14,698	14,698	14,698	14,698	14,698
			目標値	15,205	15,711	16,218	16,725	17,231	17,738
			実績値	14,677	15,899	15,675	15,427	15,300	15,187
			達成率	97%	101%	97%	92%	89%	86%
C 芸術文化団体・組織の数	団体	文化団体数(文化協会加入団体数)	成り行き値	240	240	235	235	230	230
			目標値	243	246	249	252	253	253
			実績値	243	244	238	229	224	221
			達成率	100%	99%	96%	91%	89%	87%
D 芸術文化団体・組織の会員数	人	文化団体数(文化協会加入団体数)	成り行き値	4,470	4,400	4,390	4,360	4,345	4,335
			目標値	4,474	4,439	4,433	4,433	4,433	4,433
			実績値	4,472	4,180	4,077	3,794	3,614	3,414
			達成率	100%	94%	92%	86%	82%	77%
			結果	○	△	△	△	△	△

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

- ・スポーツ団体については、平成20年度に霧島市体育協会の各競技団体の統一を計画しているため目標値を下げている。その後はスポーツ少年団等の少子化や団体育成に伴う増減はあるが、大きな変化がないとして目標値としては同じ数値としている。
- ・芸術文化団体に関しては、市民の嗜好が多様化しているとともに、既存の団体(文化協会)に依存しない傾向が見られることから、団体の育成は非常に厳しい状況である。そこで、目標値は概ね現状維持とした。

<p>4 平成24年度基本事業の取組方針</p> <p>ア: 総会・指導者研修会等で適正なスポーツ少年団の在り方について意識啓発を行うとともに、学校や家庭と連携して、子どもたちにスポーツの楽しさを伝える。</p> <p>イ: 文化協会の活性化を促すとともに、文化協会に所属していない団体への支援を図り、文化活動の楽しさを周知していく。</p>	<p>5 平成24年度基本事業の取組方針の達成状況</p> <p>ア: スポーツ少年団については、その在り方や運営方針、安全対策及び体罰等についての指導者への研修を行ったほか、児童生徒及び保護者に対してもスポーツ少年団の目的や怪我防止のための講演等を行った。</p> <p>イ: 広域的な文化の交流を図るため、始良地区文化協会の交流事業として湧水町の芸術祭に参加した。また、きりしま創造舞台が実施する舞台公演の活動に対しても、支援を行った。</p>
--	---

6 平成24年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

スポーツ団体・組織数及び会員数は、前年度に比べ5団体、113人減少し、ともに目標を達成することができなかった。これは、スポーツ少年団の団数及び団員数が減ったためであるが、その要因としては、児童数が減少していることや民間のスポーツクラブや総合型地域スポーツクラブ等でも活動する場があることなどが考えられる。

また、芸術文化団体・組織の数も前年度実績から3団体減少、会員数も200人減っている。その要因として、既存団体への興味・関心が薄れたことや、会員の高齢化による活動休止や脱退があげられる。

7 平成25年度基本事業の取組方針 | **8 平成26年度に向けた基本事業の課題・方向性**

--	--